東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	総合学習Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	78
対象年次	1年	授業形態	講義・実習
担当教員	校長、クラス担任、就職担当、外部講師		
授業概要	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・ 総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。		
到達目標	社会性を身に付けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	就学規則	
2	就学規則	
3	就学規則	
4	オリエンテーション①	学校のルール・授業構成について理解する
5	オリエンテーション①	〃
6	オリエンテーション①	〃
7	オリエンテーション②	〃
8	オリエンテーション②	〃
9	オリエンテーション②	〃
10	講義準備	犬に関する基礎知識を理解する
11	講義準備	〃
12	講義準備	〃
13	器具配布	トリミング実習で使用する道具の使用法等を学ぶ
14	器具配布	〃
15	器具配布	〃
16	研修旅行①	動物の施設を訪問し学習　団体行動を学び、クラスメイトと親睦を深める
17	研修旅行①	〃
18	研修旅行①	〃
19	研修旅行①	〃
20	研修旅行①	〃
21	研修旅行①	〃
22	研修旅行②	〃
23	研修旅行②	〃
24	研修旅行②	〃
25	研修旅行②	〃
26	研修旅行②	〃
27	研修旅行②	〃
28	旅行説明	
29	特別講義①	シャンプーマシーンメーカー
30	特別講義①	〃
31	特別講義②	
32	特別講義②	
33	特別講義②	

時間	授業計画及び学習の内容	
34	特別講義③	シャンプーメーカー
35	特別講義③	〃
36	特別講義③	〃
37	特別講義④	ハサミ・バリカンメーカー
38	特別講義④	〃
39	特別講義④	〃
40	筆記試験①	前期
41	筆記試験②	〃
42	筆記試験③	〃
43	筆記試験④	〃
44	筆記試験⑤	〃
45	課外研修①	接客やサービスを学ぶ
46	課外研修①	〃
47	課外研修①	〃
48	課外研修②	FCIドッグショー見学
49	課外研修②	〃
50	課外研修②	〃
51	トリミング競技・校内予選会①	
52	トリミング競技・校内予選会①	
53	トリミング競技・校内予選会①	
54	トリミング競技・校内予選会②	
55	トリミング競技・校内予選会②	
56	トリミング競技・校内予選会②	
57	筆記試験⑥	後期
58	筆記試験⑦	〃
59	筆記試験⑧	〃
60	接客マナー①	就職活動に向けたビジネスマナー
61	接客マナー①	〃
62	接客マナー①	〃
63	接客マナー②	〃
64	接客マナー②	〃
65	接客マナー②	〃
66	就職分野説明	
67	就職分野説明	
68	就職分野説明	
69	特別講義⑤	
70	特別講義⑤	
71	特別講義⑤	
72	特別講義⑥	
73	特別講義⑥	
74	特別講義⑥	
75	課題①	
76	課題②	
77	課題③	
78	課題④	

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	総合学習Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	42
対象年次	1年	授業形態	講義・実習
担当教員	芝田早苗、中村知里、関口和実		
授業概要	犬を癒し、健康に役立つマッサージの学習　ドッグウエアの制作。		
到達目標	犬をマッサージするテクニックを習得する　ドッグウエアを時間内に丁寧に作品を完成させる。		
テキスト・参考書等	プリント配布		
評価方法	Ⅱ-1・Ⅱ-2それぞれで出席率2/3以上・作品の提出		

時間		授業計画及び学習の内容	
Ⅱ-1	1	ドッグマッサージ①	ドッグマッサージの定義と利点・マッサージのテクニック・頭部のマッサージ
	2	ドッグマッサージ①	〃
	3	ドッグマッサージ①	〃
	4	ドッグマッサージ②	マッサージの反応・アロマセラピー・前躯のマッサージ
	5	ドッグマッサージ②	〃
	6	ドッグマッサージ②	〃
	7	ドッグマッサージ③	ツボと経絡について・中躯のマッサージ・ストレッチ
	8	ドッグマッサージ③	〃
	9	ドッグマッサージ③	〃
	10	ドッグマッサージ④	カルテ作成方法・アイシングと温熱療法・後躯のマッサージ・これからのマッサージ
	11	ドッグマッサージ④	〃
	12	ドッグマッサージ④	〃
	13	ドッグマッサージ⑤	ツボとマッサージの復習と実習
	14	ドッグマッサージ⑤	〃
	15	ドッグマッサージ⑤	〃
Ⅱ-2	16	ドッグウエア①	ペット服について・必要性についての講義
	17	ドッグウエア①	〃
	18	ドッグウエア①	リボン作成
	19	ドッグウエア②	犬のおもちゃ作り・縫い方の練習
	20	ドッグウエア②	〃
	21	ドッグウエア②	〃
	22	ドッグウエア③	犬のTシャツ作り・型紙を作り、布にまち針で留める。
	23	ドッグウエア③	犬のTシャツ作り・布の裁断
	24	ドッグウエア③	〃
	25	ドッグウエア④	犬のTシャツ作り・チャコペーパーを使い、縫いしろラインをつける
	26	ドッグウエア④	〃
	27	ドッグウエア④	犬のTシャツ作り・背身頃を腹身頃を縫い合わせる
	28	ドッグウエア⑤	〃
	29	ドッグウエア⑤	犬のTシャツ作り・袖を縫う
	30	ドッグウエア⑤	犬のTシャツ作り・衿ぐり、裾ぐり、袖ぐりを縫う
	31	ドッグウエア⑥	犬のTシャツ作り・縫い合わせた布にアイロンをあてる

時間		授業計画及び学習の内容	
	32	ドッグウエア⑥	犬のTシャツ作り・袖ぐり（右）を縫い合わせる
	33	ドッグウエア⑥	〃
	34	ドッグウエア⑦	犬のTシャツ作り・袖ぐり（左）を縫い合わせる
	35	ドッグウエア⑦	〃
	36	ドッグウエア⑦	犬のTシャツ作り・衿ぐりを縫い合わせる
	37	ドッグウエア⑧	〃
	38	ドッグウエア⑧	〃
	39	ドッグウエア⑧	〃
	40	ドッグウエア⑨	犬のTシャツ作り・身頃と袖を縫い合わせる
	41	ドッグウエア⑨	〃
	42	ドッグウエア⑨	犬のTシャツ作り・アイロンをあてる

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	美術Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	18
対象年次	1年	授業形態	講義・実習
担当教員	田下政雄		
授業概要	デッサン等を通じてバランスのとり方やデザイン性を学びながら、同時に動物の形態機能を学び、グルーミングの知識やスキルに生かしていく。		
到達目標	美学で学んだ動物の形態機能の知識を通してグルーミングに応用させる知識、スキル、感性を習得する。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率2/3以上、作品の提出		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	鉛筆画　コッカーの歩様	原稿に碁盤目の線書き入れ、白紙にも同様の線を書き、線を頼りに画き写す。
2	鉛筆画　コッカーの歩様	〃
3	鉛筆画　コッカーの歩様	〃
4	鉛筆画　犬の眼	前回同様の手順で2倍に引き延ばす。
5	鉛筆画　犬の眼	〃
6	鉛筆画　犬の眼	〃
7	鉛筆画　犬の鼻	全て前回同様。見え難い部分は想像力、観察力が試される。
8	鉛筆画　犬の鼻	〃
9	鉛筆画　犬の鼻	〃
10	鉛筆画　ポメラニアンの顔	今迄に画いてきた眼、鼻を参考にして、毛の画き方が加わる。
11	鉛筆画　ポメラニアンの顔	〃
12	鉛筆画　ポメラニアンの顔	〃
13	鉛筆画　デッサン（手）	自分の手を見ながら、鉛筆（11B）と綿棒を使用してリアルに。
14	鉛筆画　デッサン（手）	〃
15	鉛筆画　デッサン（手）	〃
16	鉛筆画　透視図(木材)	透視図法の説明。二点透視図法で角材の木目を画く。
17	鉛筆画　透視図(木材)	〃
18	鉛筆画　透視図(木材)	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	犬学	必修・選択区分	必修
		時間数	30
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	渡辺まゆみ		
授業概要	犬の種類や犬種ごとの特長、習性、能力や生態について体系的に学ぶ。		
到達目標	犬に対する総合的な理解を深め、トリマーという仕事に活かせる知識を身に付ける。		
テキスト・参考書等	愛玩動物飼養管理士2級教本		
評価方法	出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	第一章　犬の起源と分類学	イヌ科の祖先
2	第一章　犬の起源と分類学	イヌのルーツの研究
3	第一章　犬の起源と分類学	分類学、犬の永久歯と乳歯
4	第二章　人類とイヌ	人類とイヌの関係
5	第二章　人類とイヌ	イヌの特性
6	第二章　人類とイヌ	イヌの特性、収束進化
7	第三章　家畜化による犬の訓化現象	変化の特長、体積・体型の変化
8	第三章　家畜化による犬の訓化現象	変化の特長、頭部の変化
9	第三章　家畜化による犬の訓化現象	変化の特長、体躯の変化、心理的変化、生理的変化
10	第四章　人と動物の関係	家庭動物、産業動物、動物福祉
11	第四章　人と動物の関係	実験動物、3Rの原則、展示動物
12	第四章　人と動物の関係	環境エンリッチメント、野生動物
13	第五章　犬の活用と犬種	番犬、獣猟犬
14	第五章　犬の活用と犬種	鳥猟犬、牧羊犬
15	第五章　犬の活用と犬種	牧畜犬、そり犬
16	第五章　犬の活用と犬種	闘犬、軍用犬
17	第五章　犬の活用と犬種	警察犬、盲導犬
18	第五章　犬の活用と犬種	介助犬、聴導犬
19	第五章　犬の活用と犬種	身体障がい者補助犬法、救助犬
20	第五章　犬の活用と犬種	税関犬、競走犬、演技犬、愛玩犬
21	第五章　犬の活用と犬種	ファシリティドッグ、動物介在療法
22	第五章　犬の活用と犬種	動物介在活動、動物介在教育
23	第六章　犬の成長と年齢	犬の一生、体の大きさ、新生子期、移行期
24	第六章　犬の成長と年齢	幼年期、成長期、成年期、高齢期
25	第七章　犬の感覚	環境世界、臭覚
26	第七章　犬の感覚	聴覚
27	第七章　犬の感覚	視覚
28	第七章　犬の感覚	味覚、皮膚感覚
29	第八章　犬体名称	犬の体各部位の名称
30	第九章　骨格名称	犬の骨格各部位の名称

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	猫学Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	18
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	山崎いく子		
授業概要	猫の種類、特長、生態をはじめ、キャットショーやグルーミングについて学習する。		
到達目標	猫に対する総合的な知識を習得し、卒業後に幅広く活躍できる人材を育成する。		
テキスト・参考書等	猫の教科書(緑書房)		
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	猫科、猫の歴史について	動物愛護史、猫科のイエネコ、世界・日本における歴史
2	猫科、猫の歴史について	〃
3	猫科、猫の歴史について	〃
4	猫の種類について①	猫の種類、短毛・長毛について
5	猫の種類について①	〃
6	猫の種類について①	〃
7	猫の種類について②	猫の種類、短毛・長毛について
8	猫の種類について②	〃
9	猫の種類について②	〃
10	猫の用語について	猫界で使う用語
11	猫の用語について	〃
12	猫の用語について	〃
13	猫の毛色について①	一般的な毛色の区分
14	猫の毛色について①	〃
15	猫の毛色について①	〃
16	猫の毛色について②	種類別の毛色
17	猫の毛色について②	〃
18	猫の毛色について②	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	スタンダード学Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	33
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	芝田早苗		
授業概要	各犬種の歴史や特徴について学ぶ。		
到達目標	各犬種の歴史や特徴に関する知識を深める。犬種標準を理解する。		
テキスト・参考書等	JKC全犬種標準書		
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	ジャーマン・シェパード・ドッグ	沿革とスタンダード解説
2	ジャーマン・シェパード・ドッグ	〃
3	ジャーマン・シェパード・ドッグ	〃
4	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	〃
5	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	〃
6	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	〃
7	ウェルッシュ・コーギー・ペンブローク	〃
8	ウェルッシュ・コーギー・ペンブローク	〃
9	ウェルッシュ・コーギー・ペンブローク	〃
10	ボクサー	〃
11	ボクサー	〃
12	ボクサー	〃
13	ブルドッグ	〃
14	ブルドッグ	〃
15	ブルドッグ	〃
16	ドーベルマン	〃
17	ドーベルマン	〃
18	ドーベルマン	〃
19	セント・バーナード	〃
20	セント・バーナード	〃
21	セント・バーナード	〃
22	ダックスフント	〃
23	ダックスフント	〃
24	ダックスフント	〃
25	秋田犬	〃
26	秋田犬	〃
27	秋田犬	〃
28	柴犬	〃
29	柴犬	〃
30	柴犬	〃
31	シベリアン・ハスキー	〃
32	シベリアン・ハスキー	〃
33	シベリアン・ハスキー	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	愛玩動物飼養管理	必修・選択区分	必修
		時間数	24
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	山田広美、山崎いく子、平井潤子		
授業概要	愛玩動物の習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などを学ぶ。		
到達目標	ライセンス取得（日本愛玩動物協会/愛玩動物飼養管理士2級）		
テキスト・参考書等	愛玩動物飼養管理士2級教本・スクーリング資料		
評価方法	1～21までの出席率2/3以上・ライセンス試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	小動物の飼養管理	感染症法、特定外来生物法、重歯目、げっ歯目、爬虫類、有鱗目
2	小動物の飼養管理	〃
3	小動物の飼養管理	〃
4	猫の飼養管理	動物の飼養管理、飼養衛生、猫の飼養管理
5	猫の飼養管理	〃
6	猫の飼養管理	〃
7	愛玩動物の飼養管理	自然環境とパンデミック、動物取扱業の災害対策
8	愛玩動物の飼養管理	〃
9	愛玩動物の飼養管理	〃
10	スクーリング	愛玩動物飼養管理士とは
11	スクーリング	人と動物の関係学
12	スクーリング	動物関係法令
13	スクーリング	動物の飼養管理（総論）
14	スクーリング	〃　（各論）
15	スクーリング	〃　（動物のしつけ）
16	スクーリング	〃　（小動物）
17	スクーリング	〃　（その他）
18	スクーリング	〃　（まとめ）
19	課題報告問題①	課題取り組み
20	課題報告問題②	〃
21	課題報告問題③	〃
22	試験	
23	試験	
24	試験	

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング理論Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	30
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	金子幸一（JKC全犬種審査員、JKCトリマー試験委員、JKCトリマー教士、ヴィヴィッドグルーミングスクール学長）・飯田美雪（JKCトリマー教士）		
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。		
到達目標	グルーミングの基礎、プードル種・テリア種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書・プードル・トリミングの教科書		
評価方法	Ⅰ-1・Ⅰ-2それぞれで出席率2/3以上・試験		

科目名	時間	授業計画及び学習の内容	
Ⅰ-1	1	プードル①	講義プードルのスタンダードについて学ぶ
	2	プードル①	〃
	3	プードル①	〃
	4	プードル②	講義プードルのトリミングについて学ぶ
	5	プードル②	〃
	6	プードル②	〃
	7	プードル③	講義プードルのトリミングについて学ぶ
	8	プードル③	〃
	9	プードル③	〃
	10	プードル④	講義プードルのケネル＆ラムクリップについて学ぶ
	11	プードル④	〃
	12	プードル④	〃
	13	プードル⑤	実講プードルのケネル＆ラムクリップについて、実演を見ながら学ぶ
	14	プードル⑤	〃
	15	プードル⑤	〃
Ⅰ-2	16	テリア①	講義テリアのスタンダードについて学ぶ
	17	テリア①	〃
	18	テリア①	〃
	19	テリア②	講義テリアのスタンダードについて学ぶ
	20	テリア②	〃
	21	テリア②	〃
	22	テリア③	講義テリアのスタンダードについて学ぶ
	23	テリア③	〃
	24	テリア③	〃
	25	テリア④	実講テリアのトリミングについて学ぶ
	26	テリア④	〃
	27	テリア④	〃
	28	テリア⑤	実講テリアのトリミングについて学ぶ
	29	テリア⑤	〃
	30	テリア⑤	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング理論Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	33
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	田下政雄、中村知里、利根川紘子、小美野夏帆美		
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。		
到達目標	グルーミングの基礎、マルチーズ種、シーズー種、ヨーキー種、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書		
評価方法	Ⅱ-1・Ⅱ-2それぞれで出席率2/3以上・試験		

科目名	時間	授業計画及び学習の内容	
Ⅱ-1	1	マルチーズ①	講義マルチーズのスタンダードについて学ぶ
	2	マルチーズ①	〃
	3	マルチーズ①	〃
	4	マルチーズ②	講義マルチーズのグルーミングについて学ぶ
	5	マルチーズ②	〃
	6	マルチーズ②	〃
	7	シーズー①	講義シーズーのスタンダードについて学ぶ
	8	シーズー①	〃
	9	シーズー①	〃
	10	シーズー②	講義シーズーのグルーミングについて学ぶ
	11	シーズー②	〃
	12	シーズー②	〃
	13	ヨーキー①	講義ヨークシャーテリアのスタンダードについて学ぶ
	14	ヨーキー①	〃
	15	ヨーキー①	〃
	16	ヨーキー②	講義ヨークシャーテリアのグルーミングについて学ぶ
	17	ヨーキー②	〃
	18	ヨーキー②	〃
Ⅱ-2	19	コッカー①	講義コッカースパニエルの歴史
	20	コッカー①	〃
	21	コッカー①	〃
	22	コッカー②	講義コッカースパニエルの解剖学上の理想的骨格
	23	コッカー②	〃
	24	コッカー②	〃
	25	コッカー③	講義コッカースパニエルのスタンダード
	26	コッカー③	〃
	27	コッカー③	〃
	28	コッカー④	講義コッカースパニエルのトリミング理論
	29	コッカー④	〃
	30	コッカー④	〃
	31	コッカー⑤	実講コッカースパニエルのトリミングについて、実演を見ながら学ぶ
	32	コッカー⑤	〃
	33	コッカー⑤	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング理論Ⅲ	必修・選択区分	必修
		時間数	33
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	金子幸一、渡辺まゆみ、飯田美雪、芝田早苗、若林智子		
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。		
到達目標	グルーミングの基礎、コッカースパニエル種、ポメラニアン種、シェルティ種、Mシュナ種、プードル種について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・ドッググルーミングブック（EduwardPress）・JKC全犬種標準書		
評価方法	Ⅲ-1・Ⅲ-2それぞれで出席率2/3以上・試験		

科目名	時間	授業計画及び学習の内容	
Ⅲ-1	1	ポメラニアン	講義ポメラニアンのスタンダードについて学ぶ
	2	ポメラニアン	〃
	3	ポメラニアン	〃
	4	ポメラニアン	講義ポメラニアンのグルーミングについて学ぶ
	5	ポメラニアン	〃
	6	ポメラニアン	〃
	7	シェルティ	講義シェットランドシープドッグのスタンダードについて学ぶ
	8	シェルティ	〃
	9	シェルティ	〃
	10	シェルティ	講義シェットランドシープドッグのグルーミングについて学ぶ
	11	シェルティ	〃
	12	シェルティ	〃
	13	グルーミング	講義グルーミングの意義・必要性・グルーマーの心構え・グルーミングの内容
	14	グルーミング	講義グルーミングを始める前の健康チェック・犬の皮膚と被毛について
	15	グルーミング	講義洗浄剤について・ブラッシング・コーミング・ベイジングの目的
	16	グルーミング	講義グルーミング用具の基礎知識
	17	グルーミング	講義ベイジングの流れ・爪切り・耳掃除・シャンプー・リンシング・ドライングの目的
	18	グルーミング	講義ベイジング①ミディアムコート・ショートコートの場合 ベイジング②ロングコートの場合ラッピングについて
Ⅲ-2	19	Mシュナ	講義ミニチュアシュナウザーのスタンダードについて学ぶ
	20	Mシュナ	〃
	21	Mシュナ	〃
	22	Mシュナ	実講ミニチュアシュナウザーのトリミングについて、実演を見ながら学ぶ
	23	Mシュナ	〃
	24	Mシュナ	〃
	25	特別講義①	
	26	特別講義①	
	27	特別講義①	
	28	特別講義②	
	29	特別講義②	
	30	特別講義②	
	31	課題①	
	32	課題②	
	33	課題③	

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング実習Ⅰ Ⅱ Ⅲ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	270
対象年次	1年	授業形態	実習		
担当教員	植村豊、田下政雄、飯田美雪、芝田早苗、中村知里、関口和実、若林智子、利根川紘子、小美野夏帆美、秋葉雅心、佐野萌衣、新里碧、浅井あずさ、内堀快晴、佐藤圭太朗、鈴木時枝、矢島英子				
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。（長毛犬種、プードル種、テリア種、コッカ―種）				
到達目標	様々な犬種のグルーミング等、JKCトリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に付ける。				
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書				
評価方法	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲそれぞれで出席率2/3以上				

科目名	時間数	授業計画及び学習の内容	
Ⅰ	1-90	グルーミング実習①	長毛犬種（マルチーズ、シーズ-、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ）、プードル、テリア種（エアデールテリア・ベドリントン・テリア）等のグルーミング
Ⅱ	91-180	グルーミング実習②	長毛犬種（マルチーズ、シーズ-、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ）、プードル、テリア種（エアデールテリア・ベドリントン・テリア）等のグルーミング
Ⅲ	181-270	グルーミング実習③	長毛犬種（マルチーズ、シーズ-、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ）、プードル、テリア種（エアデールテリア・ベドリントン・テリア）等のグルーミング

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング実習Ⅳ	必修・選択区分	必修
		時間数	60
対象年次	1年	授業形態	実習
担当教員	植村豊、田下政雄、飯田美雪、芝田早苗、中村知里、関口和実、若林智子、利根川紘子、小美野夏帆美、秋葉雅心、佐野萌衣、新里碧、浅井あずさ、内堀快晴、佐藤圭太朗、鈴木時枝、矢島英子		
授業概要	ウィッグでのトリミング等、JKCトリマーライセンス試験に備えて必要な知識を学ぶ。		
到達目標	ウィッグでのトリミング等、JKCトリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書		
評価方法	実習心得・トレーニングの出席率2/3以上・ウィッグ犬体を仕上げ提出・ライセンス取得		

科目名	時間数	授業計画及び学習の内容	
Ⅳ	1-3	トレーニング①	ブラシやハサミ類の正しい道具の使い方、トリミング技法を学ぶ。生体でのトリミングに生かすため、正しく道具を使い、トリミング技法を習得する。
	4-6	トレーニング②	
	7-9	トレーニング③	
	10-12	トレーニング④	
	13-15	トレーニング⑤	
	16-18	トレーニング⑥	
	19-21	トレーニング⑦	
	22-24	トレーニング⑧	
	25-27	トレーニング⑨	
	28-30	トレーニング⑩	
	31-33	トレーニング⑪	
	34-36	トレーニング⑫	
	37-39	トレーニング⑬	
	40-42	トレーニング⑭	
	43-45	トレーニング⑮	
	46-48	実習心得①	グルーミング実習を実施する上での心得
	49-51	実習心得②	
	52-54	ウィッグ試験	後期
	55-60	ライセンス実技試験	後期

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	ハンドリング Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	27
対象年次	1年	授業形態	講義・実習
担当教員	植村豊		
授業概要	ハンドリングとドッグショーの仕組みを理解する。		
到達目標	ライセンス取得		
テキスト・参考書等	JKCハンドリングマニュアル		
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	ハンドリングマニュアル	ハンドリングの基本
2	ハンドリングマニュアル	〃
3	ハンドリングマニュアル	〃
4	ショーのためのグルーミング	ショーでのグルーミング及びトリミング方法
5	ショーのためのグルーミング	〃
6	ショーのためのグルーミング	〃
7	各犬種の見せ方	プードル、シェットランド・シープドッグ、ヨークシャーテリア、ダックスフンド
8	各犬種の見せ方	〃
9	各犬種の見せ方	〃
10	ハンドリング実習	ハンドリング実習
11	ハンドリング実習	〃
12	ハンドリング実習	〃
13	ドッグショーでのマナーとルール	ショーリングへの実習
14	ドッグショーでのマナーとルール	〃
15	ドッグショーでのマナーとルール	〃
16	ハンドリング実習	ハンドリング実習
17	ハンドリング実習	〃
18	ハンドリング実習	〃
19	審査を受ける準備	マナーとテクニック
20	審査を受ける準備	〃
21	審査を受ける準備	〃
22	パピートレーニング①	子犬のトレーニングの仕方①
23	パピートレーニング①	〃
24	パピートレーニング①	〃
25	パピートレーニング②	子犬のトレーニングの仕方②
26	パピートレーニング②	〃
27	パピートレーニング②	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	訓練Ⅰ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	24
対象年次	1年	授業形態	講義		
担当教員	村瀬英博				
授業概要	しつけ・訓練の入った救助犬を通して、犬の扱い方の基礎を実習を通して学ぶ。				
到達目標	適切な犬との関わり方や扱い方を身に着ける。				
テキスト・参考書等	ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル				
評価方法	出席率2/3以上				

時間	授業計画及び学習の内容	
1	犬舎からの出し方	「状況、犬の様子の確認の仕方」、「扉の開け方」、「首輪」、「リードのつけ方」
2	犬を扱う前のチェック	犬の健康状態を体を触れたり、犬の様子を観察することで確認する。
3	犬の抱き方	犬の正しい抱き方と各部位の健康状態のチェックの仕方
4	犬との触れ合い方①	リードの持ち方、首輪のつかみ方
5	犬との触れ合い方②	犬との遊び方、褒め方、撫で方
6	排泄の仕方	マナーを守った排泄の実践方法
7	コミュニケーション方法①	犬に注目してもらう（アテンションを向ける）方法
8	コミュニケーション方法②	呼び戻しの方法
9	コミュニケーション方法③	歩調を合わせて一緒に歩く方法
10	コミュニケーション方法④	基本的なコマンドの支持の出し方（お座り、伏せなど）
11	コミュニケーション方法⑤	基本的なコマンドの支持の出し方（待てなど）
12	しつけの重要性①	日常の健康管理（ブラシ、体ふき、耳掃除など）を実践する。
13	しつけの重要性②	日常の健康管理（台の上で診察、爪切りなど）を実践する。
14	しつけの重要性③	公共の歩道などをマナーを守って散歩する。
15	しつけの重要性④	様々な状況で待つ練習（足元で待つ、会計時に待つ、赤信号で待つなど）
16	犬種の特性や個性による扱い方の違い①	上記の内容について異なった犬でも実践をすることで犬種の特性や個性に応じた扱い方や接し方の変え方を学ぶ。教育はされているが、若くエネルギッシュな個体、教育はされているが、一段と若く未熟な個体、犬種差や個体差の評価も行う。
17	犬種の特性や個性による扱い方の違い②	
18	犬種の特性や個性による扱い方の違い③	
19	犬種の特性や個性による扱い方の違い④	上記の内容について異なった犬でも実践をすることで犬種の特性や個性に応じた扱い方や接し方の変え方を学ぶ。教育はされているが、若くエネルギッシュな個体、教育はされているが、一段と若く未熟な個体、犬種差や個体差の評価も行う。
20	犬種の特性や個性による扱い方の違い⑤	
21	犬種の特性や個性による扱い方の違い⑥	
22	訓練学・訓練実習①	飼い主様への指導方法
23	訓練学・訓練実習②	
24	訓練学・訓練実習③	

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	訓練Ⅱ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	24
対象年次	1年	授業形態	講義		
担当教員	鹿野正顕				
授業概要	「犬の生態・行動」、「学習の仕組み」、「家庭犬としての適切な管理」などを座学を中心に学ぶ。				
到達目標	科学的な根拠に基づいた犬の習性や管理方法への知識を深める。				
テキスト・参考書等	ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル				
評価方法	出席率2/3以上				

時間	授業計画及び学習の内容	
1	行動が生じる仕組み	犬の行動が生じる仕組みと、行動に影響を与える要因
2	犬の行動特性	犬の生得的行動（習性）について
3	犬種の特性	犬種の作出と行動特性について（最新の研究内容）
4	犬の家畜化の歴史	犬の家畜化の歴史と家畜化による変化や人と犬の関係について
5	犬の学習の仕組み①	オペラント条件付け
6	犬の学習の仕組み②	犬の学習原理とコマンドトレーニング
7	犬の学習の仕組み③	古典的条件付け
8	犬の学習の仕組み④	馴化
9	栄養管理	犬の食事の選び方と与え方
10	犬の行動発達	犬の行動発達と発達に応じた適切な管理について学ぶ
11	子犬のしつけ①	犬の社会化期、若齢期について学び、その時期のしつけの重要性を学ぶ。
12	子犬のしつけ②	子犬の頃のトイレのしつけ方
13	子犬のしつけ③	子犬の頃からのトイレのしつけ方
14	子犬のしつけ④	健康管理に必要な保定、体を触れられることに慣らす方法とその指導法
15	子犬のしつけ⑤	各種健康管理の方法と慣らし方
16	子犬のしつけ⑥	子犬の頃の散歩の仕方と練習方法
17	子犬のしつけ⑦	誤食・破壊行動の予防と犬の遊びの重要性
18	子犬のしつけ⑧	子犬の頃の食事の選び方と与え方
19	子犬のしつけ⑨	社会化教育の方法と実践について
20	犬の問題行動①	犬のしつけ・訓練・問題行動の修正の違いについて
21	犬の問題行動②	犬の問題行動が生じる要因
22	犬の問題行動③	犬の問題行動の扱い方・対応の仕方
23	犬の問題行動④	具体的な問題行動の対処方法
24	犬の最新知識	新たな研究で分かった犬の最新知識

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	訓練Ⅲ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	27
対象年次	1年	授業形態	講義		
担当教員	村瀬英博、鹿野正顕				
授業概要	しつけ、訓練の入った救助犬を通しての犬の特殊能力と学習能力の高さについて学ぶ。 一般飼い主の指導を目的としたトレーニング方法を学ぶ。				
到達目標	特別な訓練を体験する。飼い主にわかりやすいトレーニング方法を学ぶ。				
テキスト・参考書等	訓練マニュアル				
評価方法	出席率80%以上				

時間	授業計画及び学習の内容	
1	オビディエンス①	停座・脚側行進①
2		停座・招呼①
3		伏臥・立止①
4	オビディエンス②	持来・休止①
5		停座・脚側行進・停座・招呼・伏臥・立止
6		
7	救助犬トレーニング①	紐付き/紐無し脚側行進/群衆内行進/常歩行進中の伏臥及び招呼
8		遠隔操作による3姿勢/平面持来/移送
9		犬の食事の選び方と与え方
10	救助犬トレーニング②	状況下に於ける休止/瓦礫歩行/トンネル通過
11		一本橋渡り/「ディスタンスコントロール」/遠隔操作による方向変換
12		可動式バレルブリッジ・水平梯子渡り
13	飼い主指導を目的としたトレーニング方法①	リードの持ち方
14		誉め言葉の教え方/ご褒美の使い方/アテンションを向ける練習
15		呼び戻しの練習
16	飼い主指導を目的としたトレーニング方法②	首輪を持つ練習/抱き方の練習
17		ご褒美の誘導を使ったコマンドの教え方
18		犬同士の挨拶のさせ方
19	飼い主指導を目的としたトレーニング方法③	ご褒美の誘導を使ったコマンドの教え方（オスワリ/フセ/タッテ）
20		人が犬と挨拶をする方法/適切な触れ合い方
21		
22	飼い主指導を目的としたトレーニング方法④	横につく練習（ヒール/サイド）
23		歩調を合わせて歩く練習
24		
25	レポート課題①	ふりかえり
26	レポート課題②	〃
27	レポート課題③	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	動物看護学Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	54
対象年次	1年	授業形態	講義・実習
担当教員	今瑞穂		
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。		
到達目標	グルーマー、ドッグトレーナー、動物ケアスタッフなどペット業界の仕事に携わる際に必要な知識とスキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	健康管理学教本・看護技術学教本		
評価方法	出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	ガイダンス/身体検査①	動物看護学を勉強する必要性・バイタルサイン
2	ガイダンス/身体検査①	〃
3	ガイダンス/身体検査①	〃
4	身体検査②	全身検査
5	身体検査②	〃
6	身体検査②	〃
7	身体検査③	身体検査実習
8	身体検査③	〃
9	身体検査③	〃
10	消毒薬①	消毒の必要性・代表的消毒薬等
11	消毒薬①	〃
12	消毒薬①	〃
13	消毒薬②	消毒薬の計算・希釈法実習
14	消毒薬②	〃
15	消毒薬②	〃
16	感染症とその方法	代表的な感染症と予防の基礎知識
17	感染症とその方法	〃
18	感染症とその方法	〃
19	保定方法	保定道具と保定方法
20	保定方法	〃
21	保定方法	〃
22	応急処置①	特にグルーミングの際に起こりやすい事故とその対処法
23	応急処置①	〃
24	応急処置①	〃
25	応急処置②	心肺蘇生法・止血・包帯法実習
26	応急処置②	〃
27	応急処置②	〃
28	日常の健康管理①	ワクチン接種プログラム・イヌ糸状虫症の予防
29	日常の健康管理①	〃
30	日常の健康管理①	〃
31	日常の健康管理②	外部寄生虫・消化管内寄生虫
32	日常の健康管理②	〃
33	日常の健康管理②	〃

時間	授業計画及び学習の内容	
34	検査器具使用法	顕微鏡・タンパク比重計・遠心分離機の使用法実習
35	検査器具使用法	〃
36	検査器具使用法	〃
37	細胞診の基礎	細胞診実習・外部寄生虫の復習
38	細胞診の基礎	〃
39	細胞診の基礎	〃
40	糞便検査①	消化器解剖・生理と検査法等
41	糞便検査①	〃
42	糞便検査①	〃
43	糞便検査②	糞便検査実習・消化管内寄生虫の復習
44	糞便検査②	〃
45	糞便検査②	〃
46	栄養学①	栄養学の基本的な知識
47	栄養学①	〃
48	栄養学①	〃
49	栄養学②	食事を与える際の注意
50	栄養学②	〃
51	栄養学②	〃
52	栄養学③	肥満克服プログラム
53	栄養学③	〃
54	栄養学③	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	基礎衛生看護学Ⅰ	必修・選択区分	必修
		時間数	36
対象年次	1年	授業形態	講義
担当教員	大津政義		
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。		
到達目標	グルーマーに必要な知識を身に付ける。		
テキスト・参考書等	新・犬と猫の体のしくみ		
評価方法	出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	骨学①	骨格、骨の働き
2	骨学①	〃
3	骨学①	〃
4	骨学②	代表的な骨、関節
5	骨学②	〃
6	骨学②	〃
7	生理学基礎①	細胞
8	生理学基礎①	〃
9	生理学基礎①	〃
10	生理学基礎②	体液、血液
11	生理学基礎②	〃
12	生理学基礎②	〃
13	生理学基礎③	リンパ、脾臓
14	生理学基礎③	〃
15	生理学基礎③	〃
16	免疫①	自己と非自己、アレルギー
17	免疫①	〃
18	免疫①	〃
19	免疫②	ワクチン　狂犬病、インフルエンザ
20	免疫②	〃
21	免疫②	〃
22	内分泌①	基礎、視床下部、下垂体
23	内分泌①	〃
24	内分泌①	〃
25	内分泌②	副腎
26	内分泌②	〃
27	内分泌②	〃
28	復習	総復習
29	復習	〃
30	復習	〃
31	神経①	中枢神経

時間	授業計画及び学習の内容	
32	神経①	〃
33	神経①	〃
34	神経②	末梢神経
35	神経②	〃
36	神経②	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	総合学習Ⅲ	必修・選択区分	必修
		時間数	66
対象年次	2年	授業形態	講義・実習
担当教員	クラス担任、就職担当、外部講師		
授業概要	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・ 総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。		
到達目標	社会性を身に付けること。就職活動時や就職後に必要となるビジネススキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	課外研修①	FCIドッグショー　見学　前期
2	課外研修①	〃
3	課外研修①	〃
4	課外研修②	〃
5	課外研修②	〃
6	課外研修②	〃
7	特別講義①	シャンプーマシーンメーカー
8	特別講義①	〃
9	特別講義①	〃
10	就職面談	
11	就職面談	
12	就職面談	
13	就職活動セミナー①	直前セミナー
14	就職活動セミナー①	〃
15	就職活動セミナー①	〃
16	就職活動セミナー②	〃
17	就職活動セミナー②	〃
18	就職活動セミナー②	〃
19	就職説明	就職活動ルール
20	就職説明	〃
21	就職説明	〃
22	業界説明①	企業説明会
23	業界説明①	〃
24	業界説明①	〃
25	業界説明②	〃
26	業界説明②	〃
27	業界説明②	〃
28	特別講義②	課外セミナー
29	特別講義②	〃
30	特別講義②	〃

時間	授業計画及び学習の内容	
31	旅行説明	
32	旅行説明	
33	旅行説明	
34	研修旅行①	動物の施設を訪問し学習　団体行動を学び、クラスメイトと親睦を深める
35	研修旅行①	〃
36	研修旅行①	〃
37	研修旅行①	〃
38	研修旅行①	〃
39	研修旅行①	〃
40	研修旅行②	ドッグフィールド競技大会
41	研修旅行②	〃
42	研修旅行②	〃
43	研修旅行②	〃
44	研修旅行②	〃
45	研修旅行②	〃
46	研修旅行③	動物の施設を訪問し学習　団体行動を学び、クラスメイトと親睦を深める
47	研修旅行③	〃
48	研修旅行③	〃
49	研修旅行③	〃
50	研修旅行③	〃
51	研修旅行③	〃
52	課外研修③	FCIドッグショー　見学　後期
53	課外研修③	〃
54	課外研修③	〃
55	トリミング競技・校内予選会①	
56	トリミング競技・校内予選会①	
57	トリミング競技・校内予選会①	
58	トリミング競技・校内予選会②	
59	トリミング競技・校内予選会②	
60	トリミング競技・校内予選会②	
61	筆記試験①	後期
62	筆記試験②	〃
63	筆記試験③	〃
64	特別講義③	租税
65	特別講義③	〃
66	特別講義③	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	美術Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	15
対象年次	2年	授業形態	講義・実習
担当教員	田下政雄		
授業概要	デッサン等を通してバランスのとり方やデザイン性を学ぶ。		
到達目標	普段、犬をどの程度観察しているのか。トリミングも画もバランスが重要な事を理解する。		
テキスト・参考書等			
評価方法	出席率2/3以上・作品の提出		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	鉛筆画(解剖学上の理想的骨格)	碁盤目法によりシェパードの骨格をすべて画く。
2	鉛筆画(解剖学上の理想的骨格)	〃
3	鉛筆画(解剖学上の理想的骨格)	〃
4	鉛筆画(コッカースパニエル)	立姿図。少しでも良い犬に見えるよう工夫すること。
5	鉛筆画(コッカースパニエル)	〃
6	鉛筆画(コッカースパニエル)	〃
7	鉛筆画(チワワの頭部)	綿棒を使用しソフトな仕上げを学ぶ。
8	鉛筆画(チワワの頭部)	〃
9	鉛筆画(チワワの頭部)	〃
10	鉛筆画(猫)	猫特有の縞模様、シワ、短い毛を表現する。
11	鉛筆画(猫)	〃
12	鉛筆画(猫)	〃
13	鉛筆画(シェルティ)	いままでの集大成。眼、鼻、口、短・長毛及びバランス等、総合的な進歩が伺える。
14	鉛筆画(シェルティ)	〃
15	鉛筆画(シェルティ)	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	猫学Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	18
対象年次	2年	授業形態	講義
担当教員	山崎いく子		
授業概要	猫の種類、特長、生態をはじめ、キャットショーやグルーミングについて学習する。		
到達目標	猫に対する総合的な知識を習得し、卒業後に幅広く活躍できる人材を育成する。		
テキスト・参考書等	猫の教科書(緑書房)		
評価方法	出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	猫の飼い方	育て方、病気について
2	猫の飼い方	〃
3	猫の飼い方	〃
4	猫の行動、習性	猫の基礎的な行動や習性について
5	猫の行動、習性	〃
6	猫の行動、習性	〃
7	猫のスタンダード①	猫のスタンダード
8	猫のスタンダード①	〃
9	猫のスタンダード①	〃
10	猫のスタンダード②	〃
11	猫のスタンダード②	〃
12	猫のスタンダード②	〃
13	猫のトリミング	保定、トリミングの仕方について
14	猫のトリミング	〃
15	猫のトリミング	〃
16	社会における猫	地域猫活動・災害時の対応など、社会と猫のかかわり
17	社会における猫	〃
18	社会における猫	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	スタンダード学Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	36
対象年次	2年	授業形態	講義
担当教員	芝田早苗		
授業概要	各犬種の歴史や特徴について学ぶ。		
到達目標	各犬種の歴史や特徴に関する知識を深める。犬種標準を理解する。		
テキスト・参考書等	JKC全犬種標準書		
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	ビーグル	沿革とスタンダード解説
2	ビーグル	〃
3	ビーグル	〃
4	アイリッシュ・セター	〃
5	アイリッシュ・セター	〃
6	アイリッシュ・セター	〃
7	ラブラドール・レトリーバー	〃
8	ラブラドール・レトリーバー	〃
9	ラブラドール・レトリーバー	〃
10	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	〃
11	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	〃
12	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	〃
13	チワワ	〃
14	チワワ	〃
15	チワワ	〃
16	パピヨン	〃
17	パピヨン	〃
18	パピヨン	〃
19	ペキニーズ	〃
20	ペキニーズ	〃
21	ペキニーズ	〃
22	アフガンハウンド	〃
23	アフガンハウンド	〃
24	アフガンハウンド	〃
25	まとめ①	〃
26	まとめ①	〃
27	まとめ①	〃
28	まとめ②	〃
29	まとめ②	〃
30	まとめ②	〃
31	FCIグループ解説①	〃

時間	授業計画及び学習の内容	
32	FCIグループ解説①	〃
33	FCIグループ解説①	〃
34	FCIグループ解説②	〃
35	FCIグループ解説②	〃
36	FCIグループ解説②	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング理論Ⅳ	必修・選択区分	必修
		時間数	45
対象年次	2年	授業形態	講義
担当教員	飯田美雪、田下政雄、金子幸一		
授業概要	犬種標準を理解し、基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学び、実習授業で実践できるようにする。		
到達目標	グルーミングの基礎、プードル、テリア、コッカースパニエル、ビション等について学び、グルーミング実習を実施するための知識とスキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書・プードル・トリミングの教科書		
評価方法	出席率2/3以上		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	ウェスティ①	講義ウエストハイランドホワイトテリアのトリミングについて学ぶ
2	ウェスティ①	〃
3	ウェスティ①	〃
4	ウェスティ②	実講ウエストハイランドホワイトテリアのトリミングについて、実演を見ながら学ぶ
5	ウェスティ②	〃
6	ウェスティ②	〃
7	ウェルシュ①	講義ウェルシュテリアのトリミングについて学ぶ
8	ウェルシュ①	〃
9	ウェルシュ①	〃
10	ウェルシュ②	実講ウェルシュテリアのトリミングについて、実演を見ながら学ぶ
11	ウェルシュ②	〃
12	ウェルシュ②	〃
13	ケリーブルー	講義ケリーブルーテリアのトリミングについて学ぶ
14	ケリーブルー	〃
15	ケリーブルー	〃
16	ノーフォーク	実講ノーフォークテリアのトリミングについて学ぶ
17	ノーフォーク	〃
18	ノーフォーク	〃
19	ベドリントン①	講義ベドリントンテリアのトリミングについて学ぶ
20	ベドリントン①	〃
21	ベドリントン①	〃
22	ベドリントン②	実講ベドリントンテリアのトリミングについて、実演を見ながら学ぶ
23	ベドリントン②	〃
24	ベドリントン②	〃
25	コッカー	実講コッカースパニエルのトリミングについて、実演を見ながら学ぶ
26	コッカー	〃
27	コッカー	〃
28	ビション	講義ビションのトリミングについて学ぶ
29	ビション	〃

時間	授業計画及び学習の内容	
30	ビション	〃
31	プードル①	講義プードルのクリップについて学ぶ
32	プードル①	〃
33	プードル①	〃
34	プードル②	講義プードルのクリップについて学ぶ
35	プードル②	〃
36	プードル②	〃
37	プードル③	講義プードルのクリップについて学ぶ
38	プードル③	〃
39	プードル③	〃
40	プードル④	講義プードルのクリップについて学ぶ
41	プードル④	〃
42	プードル④	〃
43	プードル⑤	講義プードルのクリップについて学ぶ
44	プードル⑤	〃
45	プードル⑤	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング実習ⅤⅥⅦ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	366
対象年次	2年	授業形態	実習		
担当教員	植村豊、田下政雄、飯田美雪、芝田早苗、中村知里、関口和実、若林智子、利根川紘子、小美野夏帆美、秋葉雅心、佐野萌衣				
授業概要	各犬種に応じたトリミング方法を実践する。（長毛犬種、プードル種、テリア種、コッカ―種）				
到達目標	様々な犬種のグルーミング等、JKCトリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に付ける。				
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書				
評価方法	Ⅴ・Ⅵ・Ⅶそれぞれで出席率2/3以上				

科目名	時間	授業計画及び学習の内容	
Ⅴ	1-120	グルーミング実習①	長毛犬種（マルチーズ、シーズ-、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ）、プードル、テリア種（エアデールテリア、ベドリントン・テリア）等のグルーミング
Ⅵ	121-240	グルーミング実習②	長毛犬種（マルチーズ、シーズ-、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ）、プードル、テリア種（エアデールテリア、ベドリントン・テリア）等のグルーミング
Ⅶ	241-366	グルーミング実習③	長毛犬種（マルチーズ、シーズ-、ポメラニアン、ヨークシャテリア、シェットランドシープドッグ）、プードル、テリア種（エアデールテリア、ベドリントン・テリア）等のグルーミング

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	グルーミング実習Ⅷ	必修・選択区分	必修
		時間数	27
対象年次	2年	授業形態	実習
担当教員	植村豊、田下政雄、飯田美雪、芝田早苗、中村知里、関口和実、若林智子、利根川紘子、小美野夏帆美、秋葉雅心、佐野萌衣、新里碧、浅井あずさ、内堀快晴、佐藤圭太朗、鈴木時枝、矢島英子		
授業概要	ウィッグでのトリミング等、JKCトリマーライセンス試験に備えて必要な知識を学ぶ。		
到達目標	ウィッグでのトリミング等、JKCトリマーライセンス試験に備えて必要な知識、スキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	最新ドッググルーミングマニュアル（公認トリマー教本）・JKC全犬種標準書		
評価方法	トレーニングの出席率2/3以上・ウィッグ犬体を仕上げ提出・ライセンス取得		

科目名	時間	授業計画及び学習の内容	
Ⅷ	1-3	トレーニング①	ブラシやハサミ類の正しい道具の使い方、トリミング技法を学ぶ。生体でのトリミングに生かすため、正しく道具を使い、トリミング技法を習得する。
	4-6	トレーニング②	
	7-9	トレーニング③	
	10-12	トレーニング④	
	13-15	トレーニング⑤	
	16-18	トレーニング⑥	
	19-21	ウィッグ試験	前期
	22-27	ライセンス実技試験	後期

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	ハンドリングⅡ	必修・選択区分	必修
		時間数	30
対象年次	2年	授業形態	実習
担当教員	黒木厚好		
授業概要	ハンドリングとドッグショーの仕組みを理解する。		
到達目標	JKCハンドラーC級ライセンス取得を目標とする。		
テキスト・参考書等	ハンドリングマニュアル教本		
評価方法	1～27までの出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	ハンドリング実習	リードの持ち方、犬への掛け方
2	ハンドリング実習	テーブル上でのスタック①
3	ハンドリング実習	歩行（アップアンドダウン）①
4	ハンドリング実習	テーブル上でのスタック②
5	ハンドリング実習	歩行（アップアンドダウン）②
6	ハンドリング実習	歩行（ラウンド）①
7	ハンドリング実習	テーブル上でのスタック③
8	ハンドリング実習	歯の見せ方
9	ハンドリング実習	歩行（トライアングル）①
10	ハンドリング実習	テーブル上でのスタック④
11	ハンドリング実習	ジャッジとの対応①
12	ハンドリング実習	歩行（アップアンドダウン、トライアングル、ラウンド）
13	ハンドリング実習	テーブルおよび床上でのスタック
14	ハンドリング実習	フリー・スタンディング・ポーズ①
15	ハンドリング実習	ドッグショー形式でのハンドリング①
16	ハンドリング実習	ジャッジとの対応②
17	ハンドリング実習	ドッグショー形式でのハンドリング②
18	ハンドリング実習	ドッグショー形式でのハンドリング③
19	ハンドリング実習	ジャッジとの対応③
20	ハンドリング実習	ライセンス形式でのハンドリング①
21	ハンドリング実習	ライセンス形式でのハンドリング②
22	ハンドリング実習	ライセンス試験採点のポイント、減点を減らす方法①
23	ハンドリング実習	ライセンス試験採点のポイント、減点を減らす方法②
24	ハンドリング実習	ライセンス試験採点のポイント、減点を減らす方法③
25	ハンドリング実習	ライセンス試験に向けての最終チェック①
26	ハンドリング実習	ライセンス試験に向けての最終チェック②
27	ハンドリング実習	ライセンス試験に向けての最終チェック③
28	実技試験	
29	実技試験	
30	実技試験	

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	訓練Ⅳ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	81
対象年次	2年	授業形態	実習		
担当教員	鹿野正顕				
授業概要	一般飼い主の家庭犬を預かって幼稚園を開催する。				
到達目標	家庭犬に必要な社会化教育を実践する				
テキスト・参考書等					
評価方法	出席率2/3以上				

時間	授業計画及び学習の内容	
1-6	幼稚園の業務について	幼稚園の1日の流れ 各業務（トレーニング）の目的と実施方法 幼稚園の運営方法について（受け入れ基準、リスクマネージメント等） 業務の注意点 接客、飼い主対応について
7-12	幼稚園実習①	受け入れからお返しまでの業務を実施
13-18	幼稚園実習②	〃
19-24	幼稚園実習③	〃
25-30	幼稚園実習④	〃
31-36	幼稚園実習⑤	〃
37-42	幼稚園実習⑥	〃
43-48	幼稚園実習⑦	〃
49-54	幼稚園実習⑧	〃
55-57	幼稚園の業務について	講義　前期の反省改善点
58-63	幼稚園実習⑨	〃
64-69	幼稚園実習⑩	〃
70-75	幼稚園実習⑪	〃
76-81	幼稚園実習⑫	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	訓練Ⅴ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	84
対象年次	2年	授業形態	実習		
担当教員	鹿野正顕（学術博士、株式会社アニマル・ソリューションズ代表取締役）				
授業概要	一般飼い主の家庭犬を預かって幼稚園を開催する。 現場での実習を通して社会で必要となる知識と技術を身に着ける。				
到達目標	家庭犬に必要な社会化教育を実践する				
テキスト・参考書等					
評価方法	出席率2/3以上				

時間	授業計画及び学習の内容	
1-6	幼稚園実習⑬	受け入れからお返しまでの業務を実施
7-12	幼稚園実習⑭	〃
13-18	幼稚園実習⑮	〃
19-24	幼稚園実習⑯	〃
25-30	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習①	スタディ・ドッグ・スクール幼稚園スタッフの補助 スタディ・ドッグ・スクールグループレッスンスタッフの補助 /グルーミングに於けるハズバンダリートレーニング
31-36	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習②	〃
37-42	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習③	〃
43-48	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習④	〃
49-54	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習⑤	〃
55-60	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習①	〃
61-66	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習②	〃
67-72	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習③	〃
73-78	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習④	〃
79-84	スタディ・ドッグ・スクール /ハズバンダリートレーニング実習⑤	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	訓練Ⅵ	必修・選択区分	必修		
		授業回数		時間数	84
対象年次	2年	授業形態	実習		
担当教員	村瀬英博、藤井聡				
授業概要	現場での実習を通して社会で必要となる知識と技術を身に着ける。 ライセンスを取得するための知識と技術を身に着ける。				
到達目標	現場の業務を体験・習得する。ライセンスを取得する。				
テキスト・参考書等					
評価方法	出席率2/3以上・ライセンス試験				

時間	授業計画及び学習の内容	
1-6	村瀬ドッグトレーニングセンター研修①	通常業務の補助、救助犬の訓練補助、アジリティ
7-12	村瀬ドッグトレーニングセンター研修②	オビディエンス（服従訓練）導入、パピートレーニング①
13-18	村瀬ドッグトレーニングセンター研修③	オビディエンス（服従訓練）中級、パピートレーニング②
19-24	村瀬ドッグトレーニングセンター研修④	オビディエンス（服従訓練）上級、パピートレーニング③
25-27	訓練学・訓練実習①	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習①
28-30	訓練学・訓練実習②	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習②
31-33	訓練学・訓練実習③	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習③
34-36	訓練学・訓練実習④	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習④
37-39	訓練学・訓練実習⑤	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習⑤
40-42	訓練学・訓練実習⑥	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習⑥
43-45	訓練学・訓練実習⑦	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習⑦
46-48	訓練学・訓練実習⑧	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習⑧
49-51	訓練学・訓練実習⑨	訓練済の犬の正確な取り扱い方、訓練課目の理解と実習⑨
52-54	訓練学・訓練実習⑩	飼い主様への指導方法
55-57	ライセンス対策①	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補試験科目
58-60	ライセンス対策②	〃
61-63	ライセンス対策③	〃
64-66	ライセンス対策④	〃
67-69	ライセンス対策⑤	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補ライセンス実技対策
70-72	ライセンス対策⑥	〃
73-75	ライセンス対策⑦	〃
76-78	ライセンス対策⑧	〃
79-81	ライセンス試験	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補・ライセンス実技試験
82-84	ライセンス試験	ジャパンケネルクラブ公認訓練士補・ライセンス筆記試験

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	動物看護学Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	57
対象年次	2年	授業形態	講義・実習
担当教員	菅谷茜（獣医師）、今瑞穂（愛玩動物看護師、認定動物看護師、ペット栄養管理士）		
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。		
到達目標	グルーマー、ドッグトレーナー、アニマルケアスタッフなどペット業界の仕事に携わる際に 必要な知識とスキルを身に付ける。		
テキスト・参考書等	健康管理学教本、看護技術学教本		
評価方法	出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	避妊と去勢	避妊と去勢の方法・遺伝性疾患等
2	避妊と去勢	〃
3	避妊と去勢	〃
4	歯科学①	歯と口腔の解剖
5	歯科学①	〃
6	歯科学①	〃
7	歯科学②	予防歯科・歯磨き法・歯石除去
8	歯科学②	〃
9	歯科学②	〃
10	血液検査①	血液学の基礎・採血法・血液の処理法
11	血液検査①	〃
12	血液検査①	〃
13	血液検査②	注射デモ・採血デモ・Ht・TP・血液塗沫実習
14	血液検査②	〃
15	血液検査②	〃
16	皮膚科学①	皮膚の基礎知識と皮膚の異常
17	皮膚科学①	〃
18	皮膚科学①	〃
19	皮膚科学②	基本的皮膚疾患と予防法・皮膚検査
20	皮膚科学②	〃
21	皮膚科学②	〃
22	調剤法①	薬の基礎知識・剤形・薬用量計算
23	調剤法①	〃
24	調剤法①	〃
25	調剤法②	調剤実習
26	調剤法②	〃
27	調剤法②	〃
28	注射法と輸液の管理①	注射器具等の紹介と扱い・各種投薬法
29	注射法と輸液の管理①	〃
30	注射法と輸液の管理①	〃
31	注射法と輸液の管理②	薬用量計算
32	注射法と輸液の管理②	皮下輸液・筋肉内注射・点滴実習
33	注射法と輸液の管理②	〃

時間	授業計画及び学習の内容	
34	X線検査	X線検査･防御･保定･X線検査器具取り扱い、現像方法等
35	X線検査	〃
36	X線検査	〃
37	エコー検査	特殊撮影など
38	エコー検査	〃
39	高度医療	
40	尿検査①	泌尿器疾患･尿検査の意義･採尿法
41	尿検査①	〃
42	尿検査①	〃
43	尿検査②	尿検査実習
44	尿検査②	〃
45	尿検査②	〃
46	手術室看護	手術準備･手指の消毒法･手術器具･術後ケア･術衣装着法･オペ器具の滅菌方法等
47	手術室看護	〃
48	手術室看護	〃
49	若齢動物の対応法	新生子の管理他
50	若齢動物の対応法	〃
51	若齢動物の対応法	〃
52	高齢動物の対応法	高齢動物の管理他
53	高齢動物の対応法	〃
54	高齢動物の対応法	〃
55	皮膚科学③	薬用シャンプーとイヤークリーナーの種類と扱い方と注意点
56	皮膚科学③	〃
57	皮膚科学③	〃

東京愛犬専門学校　愛犬総合学科（ドッグトレーナーコース）

授業科目	基礎衛生看護学Ⅱ	必修・選択区分	必修
		時間数	36
対象年次	2年	授業形態	講義
担当教員	大津政義		
授業概要	基礎動物学、基礎動物看護学を中心に動物に対する理解を深める。		
到達目標	グルーマーに必要な知識を身に付ける。		
テキスト・参考書等	新・犬と猫の体のしくみ		
評価方法	出席率2/3以上・試験		

時間	授業計画及び学習の内容	
1	代謝①	三大栄養素、クエン酸回路、ATP①
2	代謝①	〃
3	代謝①	〃
4	消化器①	肝臓、胆汁
5	消化器①	〃
6	消化器①	〃
7	消化器②	膵臓、膵液
8	消化器②	〃
9	消化器②	〃
10	消化器③	口腔・胃・腸の解剖と生理
11	消化器③	〃
12	消化器③	〃
13	消化器④	消化管ホルモン、膜消化
14	消化器④	〃
15	消化器④	〃
16	代謝②	ATP②
17	代謝②	〃
18	代謝②	〃
19	腎臓①	排泄と腎臓、糸球体
20	腎臓①	〃
21	腎臓①	〃
22	腎臓②	尿細管、腎臓のホルモン
23	腎臓②	〃
24	腎臓②	〃
25	繁殖学	染色体、性の分化、性周期
26	繁殖学	〃
27	繁殖学	〃
28	復習	復習
29	復習	〃
30	復習	〃
31	代謝③	脂肪酸、中性脂肪、コレステロール

時間	授業計画及び学習の内容	
32	代謝③	〃
33	代謝③	〃
34	腸内細菌	腸内細菌
35	腸内細菌	〃
36	腸内細菌	〃